

平成26年7月14日発行

初の東光スポーツ公園で開催！中連が開幕。 第67回旭川市中学校連盟サッカー大会

平成26年度第67回旭川市中学校連盟サッカー大会は、7月1日（火）に東光スポーツ公園で開催しました。初めての東光スポーツ公園での開催となった今大会、素晴らしいピッチで熱戦が繰り広げられました。

1回戦

明 星 4-1 (3-0) 神居東
得点者 中島 (13分), 佐々木 (20分), 矢口 (23分, 43分) (明) 吉澤 (45分) (神)
明 星 GK 齋藤 DF 三島, 橋本楽, 鈴木, 及川 MF 坂本, 中島, 菅原, 佐々木, 狩野
FW 矢口 交代/F P 高橋, 北野, 小林, 竹中, 前田, 橋本翔
神居東 GK 鷺尾 DF 吉澤, 川口, 松田, 米澤 MF 河村, 森田, 藤井, 青山
FW 佐々木, 大平 交代/F P 明井

忠 和 2-2 (0-1) <5-4> 愛 宕
得点者 芝崎 (28分), 鈴木 (41分) (忠) 室井 (6分, 45分) (愛)
退 場 萩原 (愛)
忠 和 GK 宇野 DF 石坂, 宮野, 今野, 竹馬 MF 中西, 南向, 鈴木, 上西
FW 芝崎, 大浪 交代/F P 山崎, 棚橋
愛 宕 GK 土田 DF 山形, 白石, 窪田, 半田 MF 菅野, 萩原, 中田, 遠藤
FW 室井, 滝ヶ平 交代/F P 野坂

北 星 4-0 (3-0) 東 陽
得点者 小野 (4分, 15分, 47分), 金尾 (11分) (北)
警 告 高島 (北)
北 星 GK 伊場 DF 本間, 本谷, 金尾, 高島聖 MF 佐藤, 浅川, 小野, 高島優
FW 船越, 大瀧 交代/F P 西田, 田中, 清野, 福土, 佐々木, 向井, 膳法
東 陽 GK 波能 DF 佐藤至, 河野, 高橋, 伊藤 MF 柰木, 山方, 佐藤圭, 弘田, 後口
FW 橋本 交代/F P 佐藤勇, 平沢, 平山

春光台 1-0 (1-0) 北 都
得点者 山崎 (20分) (春)
警 告 石川 (春)
春光台 GK 松浦 DF 小野寺, 佐藤, 青山, 松浦 MF 本間, 入田, 岩本, 本庄, 高野
FW 山崎 交代/F P 石川, 土井
北 都 GK 下田 DF 里, 種本, 妹尾, 辻 MF 山下, 菅原, 古屋 FW 籠味, 清水,
宮崎 交代/F P 遠藤

広 陵 0-0 (0-0) <PK4-1> 六 合
広 陵 GK 唐太 DF 鈴木, 星, 小笠原, 森田 MF 松尾, 安念, 大曾根, 藤枝, 櫻井
FW 森本 交代/F P 樋口
六 合 GK 中野 DF 西本, 惣田, 高橋弘, 濱嶋 MF 荒, 尾崎, 長内, 籠場
FW 中村, 小西 交代/F P 浅田

神 楽 3-2 (1-0) 光 陽
得点者 藤本 (8分, 37分), 林輝 (50分) (神) 原田 (31分, 53分) (光)
警 告 藤本 (神)
光 陽 GK 丹羽 DF 松下, 藤田, 大谷, 坂本 MF 高藤, 原田, 斉藤, 小林
FW 畠山, 星 交代/F P 山田
神 楽 GK 今 DF 林大, 濱田, 石井, 大村 MF 吉田, 岡本青, 三浦, 藤本, 林輝
FW 畠山 交代/F P 佐々木, 西川, 岡本美

2回戦
啓 北 2-0 (0-0) 明 星
得点者 藤原 (25分), 大友 (31分) (啓)
啓 北 GK 平野充 DF 久保田, 平野友, 若田, 上野, MF 秋葉, 鈴木, 藤原, 深見,
工藤, 大友 FW 横山 交代/F P 細川
明 星 GK 齋藤 DF 三島, 橋本楽, 鈴木, 及川 MF 坂本, 中島, 菅原, 佐々木, 狩野
FW 矢口 交代/F P 小林

北 門 5-0 (3-0) 忠 和
得点者 田中 (6分), 畑 (7分), 荒瀬 (30分+0分, 60分+0分), 石澤 (55分) (北)
警 告 宇野, 鈴木, 芝崎 (北)
北 門 GK 中村 DF 森, 鈴木颯, 三浦, 鈴木恭 MF 岡, 畑, 田中, 高柳
FW 荒瀬, 石澤
忠 和 GK 宇野 DF 石坂, 宮野, 今野, 竹馬 MF 南向, 鈴木, 上西, 棚橋
FW 芝崎, 大浪 交代/F P 山崎

緑が丘 4-0 (1-0) 神 居
得点者 鶴羽 (22分), 三好 (54分, 58分), O・G (59分) (緑)
緑が丘 GK 青山 DF 田村, 中島, 大倉, 西川 MF 仁木, 堀, 大懸, 村田 FW 今多,
鶴羽 交代/F P 大久保, 湊端, 三好, 伊藤, 渡部
神 居 GK 山本 DF 林, 松下, 菊池, 岸谷 MF 安藤, 小山, 菅原, 新井 FW 鳥飼,
野田 交代/F P 山下, 藤本, 磯俣, 工藤, 間崎

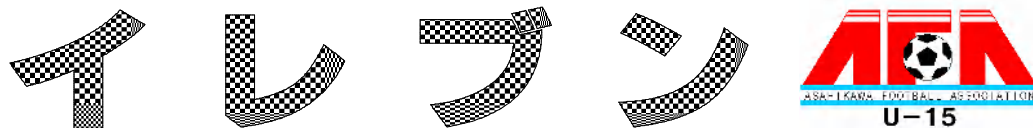
広 陵 5-1 (4-1) 神 楽
得点者 安念 (3分), 樋口 (6分, 63分), 松尾 (16分), 櫻井 (19分) (広)
藤本 (33分) (神)
広 陵 GK 唐太 DF 鈴木, 星, 小笠原, 森田 MF 松尾, 安念, 大曾根, 樋口, 櫻井
FW 森本 交代/GK 近藤 F P 渡邊, 寺崎, 庄末, 小原, 大友, 田中, 木谷
神 楽 GK 今 DF 林大, 濱田, 石井, 大村 MF 吉田, 岡本青, 三浦, 藤本, 林輝
FW 畠山 交代/F P 佐々木, 西川, 岡本美

永山南 3-0 (0-0) 永 山
得点者 須藤 (37分), 前川 (48分), 塚本 (59分)
永山南 GK 中田 DF 大杉, 土田, 前川, 浅見 MF 樋口, 須藤, 吉田, 塚本 FW 鈴木,
森永 交代/F P 小泉, 鷺見, 野原
永 山 GK 宮坂 DF 工藤駿介, 小野田, 谷島, 宮崎滉 MF 吉田直, 北川, 川勝,
鈴木祥 FW 板橋, 布施 交代/F P 佐竹, 須合

北 星 1-0 (1-0) 春光台
得点者 高島 (北)
警 告 大瀧 (北)
北 星 GK 伊場 DF 本間, 本谷, 金尾, 高島聖 MF 佐藤, 浅川, 小野, 高島優
FW 船越, 大瀧 交代/F P 向井
春光台 GK 松浦 DF 小野寺, 佐藤, 青山, 松浦 MF 本間, 入田, 岩本, 本庄, 高野
FW 山崎 交代/F P 石川, 鈴木, 石田, 土井, 金内

東 光 2-2 (0-1) <PK3-1> 附 属
得点者 加藤 (2分, 55分) (東) 藤井 (34分, 42分) (附)
警 告 佐藤 (東)
東 光 GK 佐々木 DF 佐藤, 鳥越, 押切, 高橋 MF 松田, 松山, 加藤, 町田
FW 谷口, 竹内 交代/F P 工藤
附 属 GK 小林 DF 古高, 稻尾, 森, 藤井 MF 海谷, 宮川, 松本, 安尾, 山下
FW 石崎 交代/F P 牧野

東 明 5-0 (2-0) 聖 園
得点者 山本 (16分), 藤田 (24分, 50分), 宿谷 (32分, 45分) (東)
東 明 GK 三浦 DF 斉藤, 谷内, 西多, 畠山 MF 山本, 谷垣, 畠山, 野村, 宿谷
FW 藤田 交代/木村圭, 小関, 木村恭, 富澤, 田中, 小林, 塚田, 飯田, 吉岡
聖 園 GK 柴田 DF 清井, 阿部, 岡田 MF 佐々木, 加藤, 幸谷, 石和, 依田
FW 神保, 花田 交代/小沼, 吉村, 松森, 青木



平成26年7月14日発行

北星、永南がシード校を破り上川代表決定戦へ。 第67回旭川市中学校連盟サッカー大会

平成26年度第67回旭川市中学校連盟サッカー大会は、7月2日（火）に東光スポーツ公園で準々決勝4試合が行われました。緑が丘と対戦した北星は17分にあげた小野の得点を守り切り、11年ぶりの上川代表決定戦出場を決めました。実力校の永山南は、第5シードの広陵に須藤と浅見の得点で逆転勝ちし、ベスト4進出を決めました。

準々決勝 7月2日（水）東光スポーツ公園

北星 1-0 (1-0) 緑が丘

得点者 小野 (17分) (北)

北星 GK伊場 DF本間, 本谷, 金尾, 高島聖 MF佐藤, 浅川, 小野, 向井
FW船越, 大瀧

緑が丘 GK青山 DF中島, 淵端, 大倉, 西川 MF仁木, 堀, 大懸, 伊藤
FW今多, 鶴羽 交代/F P田村, 大久保, 三好, 大村, 渡部, 村田

上川代表決定戦への出場権をかけた準決勝第1試合は北星中学校のキックオフでスタートした。両チームとも、高いラインを維持しながらコンパクトなサッカーを展開する。4分、北星は右から流れてきたボールを左に流しながらペナルティエリアに進入した10がシュートを放つが、緑が丘青山がしっかりセーブ。両チーム通じてのファーストシュートとなる。

北星は8のポストプレーから縦に早い展開でゴールへ向かう。一方緑が丘は中盤でシンプルにつながながらワイドに展開する。13分には、西川からのスルーパスに三好、鶴羽が反応し北星ゴールを脅かすも、北星GK伊場に阻まれる。緑が丘ペースと思われた前半17分、北星は右サイドからボールを受けた小野が30mのミドルシュート。ボールはきれいな弧を描いてゴールへ吸い込まれ北星が先制する。

緑が丘は堀、大懸を中心に細かいパスをつなぎながら、三好が裏へ飛び出しチャンスメイクするが、なかなかゴールを割れない。次第に緑が丘ペースとなるが、GK伊場を中心にチャンスの芽を摘み取り、前半は1-0で北星がリードして終わる。

後半は早く追いつきたい緑が丘のキックオフで始まる。北星は船越と大瀧を前線に残し、カウンターを狙う。緑が丘は左サイドの村田が幾度となく突破を試みるが、北星金尾がしっかりと対応する。後半9分、緑が丘は西川が仕掛けて中央に切り込み鶴羽へ絶妙のスルーパス。絶好のチャンスを得た緑が丘だが、鶴羽のシュートはゴールの枠をとらえない。その後も緑が丘の怒濤の攻撃が続く。後半22分、スルーパスに反応した堀がフリーで抜け出し最大のチャンスを得るも、GK伊場が飛びついてファインセーブ。26分、右サイドからペナルティエリアに切り込んだ西川からのマイナスのクロスに大久保が反応するが惜しくもゴールの枠をとらえない。追加点を取りたい北星はロングボールでカウンターを狙うが、チャンスを作れない。なんとしても追いつきたい緑が丘は後半28分仁木のロングフィードに西川が右サイドを駆け上がるも、北星高島がクリアする。終了間際の怒濤の攻撃を北星守備陣が体を張ってしのぎ、最後は決定的なシュートを伊場がまたもやファインセーブ、1点を守りきり、11年ぶり11度目の上川代表決定戦への出場権を得た。



永山南 2-1 (0-1) 広陵

得点者 須藤 (32分), 浅見 (51分) (永) 大曾根 (20分) (広)

永山南 GK中田 DF大杉, 土田, 前川, 浅見 MF須藤, 吉田, 塚本 FW樋口, 鈴木, 森永 交代/F P鷺見, 野原, 林

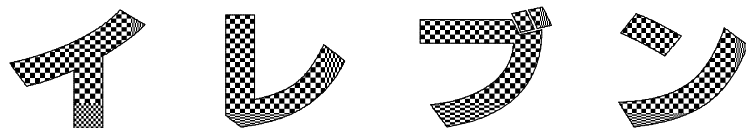
広陵 GK唐太 DF鈴木, 星, 小笠原, 森田 MF松尾, 安念, 大曾根, 樋口, 櫻井
FW藤枝

準決勝第1試合は第5シードの広陵と第4シードの永山に快勝した永山南の対戦となった。序盤前線から厳しいプレッシャーをかける永山南は吉田を中心にゲームを支配し、塚本に浅見がサポートしながら左サイドを起点として攻撃する。さらに右サイドからは樋口がスピードによって突破を図るなど、多彩な攻撃を見せる。守勢に回った広陵はGK唐太を中心とながら粘り強く守備し、永南鈴木への縦のフィードにはCB鈴木、星がタイトなマークで決定機を作らせない。広陵の攻撃は、前線の藤枝の縦への突破に活路を見いだそうとするが、永山南は大杉がカバーリングし攻撃の芽をつむ。試合は中盤にさしかかると、広陵の藤枝が左右のスペースに走り出しリズムをつかみだす。永山南はやや縦へのフィードが多くなり、厚みのある攻撃が生まれない。20分広陵はゴール前のFKを大曾根が直接蹴り込んで先制する。この1点で勢いにのる広陵は、安念、大曾根が中盤でボールを拾い出し、藤枝が縦への推進力を増し、永南ゴールを脅かす。リズムを取り戻そうとする永山南は選手やポジションを入れ替え、浅見にボールが収まり始め、森永のスピードを生かして右サイドから崩しにかかる。しかし広陵も、ブロックを形成して、永山南にスペースを与えず、最終ラインでは星、鈴木らが体を張った守りを見せ前半を1対0で折り返す。

後半開始から永山南は吉田に須藤がからみはじめ、厚みのある攻撃を見せ始める。32分永山南は右サイド奥で野原がボールをため、オーバーラップした土田からのスルーパスを受けた須藤がGKの肩口をトゥーキック気味に破って同点に追いつく。浅見、吉田、須藤の距離感が短くなりバイタルエリア付近で前を向いてプレーする機会が多くなる。広陵も苦しい展開の中、左サイドバックの小笠原が中央まで広くカバーリングするなど押され気味の展開をなんとか取り戻そうとする。41分永山南は浅見のスルーパスに鈴木が抜け出て決定的チャンスをつかむがゴールの枠を惜しくもとらえられない。45分には樋口のアーリークロスに浅見が抜け出しGKと1対1になりそうな場面を迎えるが判断よく飛び出した唐太



がストップする。押され気味の広陵だが藤枝は前線を激しく動き回り永南守備陣にプレッシャーを与え続ける。51分永山南は森永のスルーパスに走り込んだ浅見がGKと1対1になる。GK唐太が一度はストップするものの、こぼれ球を再び流し込んで逆転ゴールを決める。1点を追いかける広陵は53分松尾のシュート、54分には藤枝が抜け出してシュートを放つがGK中田の正面をつくなど重たい1点となる。59分永南は吉田のスルーパスから塚本が独走し強烈なシュートを放つがゴールバーをたたき、跳ね返りを森永がシュートを放つが左にそれる。さらにその後も須藤、塚本のシュートも惜しくも外れ追加点が奪えない。終盤広陵の攻撃を大杉を中心に跳ね返し、永山南が2年ぶり10度目の上川代表決定戦への出場権を得た。



平成26年7月14日発行

シード校の実力。啓北、北門が上川代表決定戦へ。 第67回旭川市中学校連盟サッカー大会

平成26年度第67回旭川市中学校連盟サッカー大会は、7月2日（火）に東光スポーツ公園で準々決勝4試合が行われました。第1シードの啓北、第2シードの北門は、それぞれ東明、東光に快勝し、準決勝進出を決めました。

北門6-0（4-0）東明
得点者 畑（13分、16分）、荒瀬（18分）、田中（20分）、高柳（36分）、石澤（40分）（北）

北門 GK 中村 DF 長岡、森、鈴木颯、鈴木恭 MF 岡、畑、田中、高柳 FW 荒瀬、石澤 交代/F P 松尾、伊藤、三浦、佐藤、沖、山本、釜土

東明 GK 三浦 DF 斉藤、谷内、西多、田中 MF 山本、谷垣、野村、宿谷、藤田 FW 富澤 交代/F P 畠山、小関、吉岡

立ち上がり東明は宿谷を中心に縦への長いボールでゴール前へ進入するがシュートは打てない。北門は田中・畑を中心に細かいつなぎから裏への飛び出しでチャンスをうかがう。北門が押し込む展開が続くが、決定的なチャンスを作れない時間が続く。13分右サイドからの横パスを受けた北門の畑がドリブルで中央を突破し先制。その後、東明も縦への長いパスで攻撃に出るがシュートには至らない。16分北門は右サイドでのフリーキックを田中がポストに当てるが畑が押し込んで追加点を奪う。18分、北門は左サイド鈴木からのクロスに石澤がスルーし、ファーで荒瀬が合わせて3点目を奪う。24分、東明は斉藤のロングボールに藤田が飛び込むが北門 GK 中村が押さえる。徐々に東明がカウンターチャンスをつかみ始めるがシュートまでは至らない。28分、クリアボールの跳ね返りを拾った北門荒瀬がドリブルで突破し、右サイドへ送り田中が4点目を奪う。前半はそのまま北門がリードして終了。

後半も立ち上がりから北門がペースを握る。32分畑がドリブルで仕掛けるがシュートは打てない。さらに、右サイドの荒瀬から中央へ送ったボールに田中が合わせるがポストに跳ね返される。さらに猛攻が続く、鈴木颯のシュートが再びクロスバーを直撃する。東明も必死の守備を続けながらカウンターのチャンスをうかがう。しかし、35分左サイドを抜け出した田中からのクロスに高柳が飛び込んで5点目を奪う。東明は38分、カウンターから野村がミドルシュートを放つが北門 GK 中村がキャッチ。40分、北門は高柳の右からのアーリークロスに石澤が抜け出して6点目を奪う。東明は47分カウンターから吉岡がシュートを放つが北門 GK 中村の正面をつく。さらに48分右サイドから藤田がドリブルで突破を試みるがシュートが打てない。徐々にリズムをつかんだ東明が攻勢に出るがゴールを割ることができない。逆にカウンターから北門がゴール前まで進むが東明がしのぐ。54分、右からの横パスを受けた北門田中がミドルシュートを放つが東明 GK 三浦がファインセーブ。その後は一進一退の攻防が続く、どちらもゴールを奪えないまま北門が6対0で勝利し、2年連続26度目の上川代表決定戦出場を決めた。



啓北6-1（0-0）東光
得点者 横山（33分、47分）、鈴木（35分）、大友（46分）、藤原（41分）、秋葉（42分）（啓）加藤（60分+0分）（東）

警告 大友、工藤（啓）

啓北 GK 平野充 DF 久保田、平野友、若田、上野、MF 秋葉、鈴木、藤原、深見、秋葉、大友 FW 横山

交代/F P 筒井、細川、工藤、栗本、菊地、松崎、渡部、大間

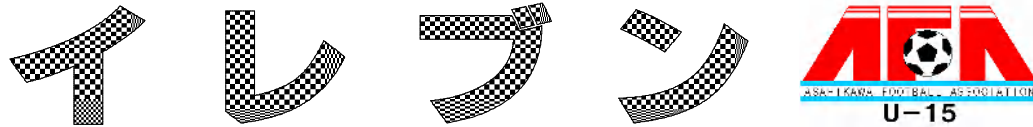
東光 GK 佐々木 DF 松山、鳥越、押切、高橋 MF 佐藤、松田、加藤、町田 FW 谷口、竹内 交代/F P 奈良、安藤、工藤、武田、駒井

第1試合で地区カブス2チームが勝ち上がる波乱がある中、第2試合もブロックカブスチームと地区株スチームの対戦となった。開始直後から啓北は前線に早い展開から縦のフィードを入れて横山、藤原を走らせる。東光はCBの松山、押切が粘り強く守備をして、啓北の攻撃をしのぐ。10分にはDゾーン付近でターンした鈴木がシュートを放つがゴールバーを越える。12分には大友がスルーパスに抜け出てGKと1対1になるが、GK佐々木が勇気をもって飛び出しストップする。東光は中盤の底から佐藤が前線へのスルーパスを狙って攻撃を組み立てようとする。それでも試合の流れは啓北にあり、14分には左サイドを鈴木がスピードに乗って突破するが集中した東光守備陣がクリアする。18分東光は武内が相手のパスをインターセプトしてシュートまでもっといくがGK平野充の正面をつく。23分啓北は横山が左サイドを突破し、藤原が左足のボレーで狙うが、GK佐々木がまたも好セーブを見せる。25分にも横山が左サイドをスピードに乗って切れ込んで折り返したところを大友



が合わせるがジャストミートせず佐々木の腕に収まる。啓北は左サイドのスペースを有効活用し、横山が再三切り崩すが、松山、押切のカバーリングとGK佐々木の攻守もあり前半をスコアレスで終える。

後半は立ち上がり竹内の右サイドから東光がチャンスを作る。そこから得たCKを松山が狙い、こぼれ球を奈良が押し込もうとするがGK平野充が身を呈して阻む。再三東光の高いディフェンスラインにオフサイドとなっていた啓北だが33分啓北は鈴木から出たスルーパスに横山が走り込み落ちてゴール右に流し込み先制点を奪う。さらに35分には大友のスルーパスから鈴木が決めて追加点を奪う。41分には鈴木のスルーパスに横山がからみGKのクリアボールを藤原が25mの距離からダイレクトに蹴りこんで3対0とする。攻撃の手を緩めない啓北は42分鈴木がシュートを放つがポストの当たって跳ね返るところを秋葉が蹴り込んで4点目を奪う。後半に入って空いたスペースに次々と走り込む啓北の攻撃に東光の守備陣はカバーリングが追いつかず、啓北は次々とチャンスを作り出す。46分には藤原の縦パスに大友が走り込んで5点目。47分にも左サイドを崩した横山が蹴り込んで6点目を奪う。追加タイム1分東光は左サイドを突破した加藤が決めて一矢を報いた。終盤選手を休ませながらも東光の攻撃を1点に抑え、6対1で快勝した啓北が7年ぶり10度目の上川代表決定戦へと進んだ。



平成26年7月14日発行

第1. 第2シードの啓北、北門が決勝に進出。 第67回旭川市中学校連盟サッカー大会

平成26年度第67回旭川市中学校連盟サッカー大会は、7月3日（水）に東光スポーツ公園で準決勝が行われました。啓北は、前半から攻撃陣が爆発し、永山南を4対1で下しました。北門も北星に完勝し、決勝に駒を進めました。

準決勝 7月3日（木）東光スポーツ公園

啓北 4-1 (3-0) 永山南

得点者 横山 (2分), 鈴木 (18分), 大友 (22分, 39分) (啓) 鷺見 (42分) (永)
啓北 GK 平野充 DF 久保田, 細川, 若田, 上野, MF 鈴木, 藤原, 深見, 工藤, 大友 FW 横山 交代/F P 秋葉, 平野友

永山南 GK 中田 DF 大杉, 土田, 前川, 鷺見 MF 樋口, 須藤, 吉田, 塚本, 浅見 FW 鈴木 交代/F P 長屋, 小泉, 野原, 高橋, 高谷, 森永

準決勝A ピッチは、ブロックカブス3位で第1シードの啓北と、地区カブスながら前評判通りの強さを見せ、シード2チームを破って進出した永山南の対戦となった。立ち上がり長いボールを入れて出方をうかがった啓北は、2分GK平野充のキックから抜け出した横山がGKの頭上越しにループシュートを決め早々と先制する。永山南も4分吉田のFKがわずかにゴールをそれるなど、互いに攻め合いが予想された。早めに縦へのフィードを入れ、横山、細川を走らせる啓北。対する永山南は鈴木や浅見が高い位置でボールをため、右サイドの樋口のスピードある突破から攻撃の糸口を探る。ゲームが落ち着き始めた時間帯、永山南は大杉が最終ラインから丁寧に中盤にボールを預けだす。そして吉田が中盤でボールを左右に散らせながら、ラインを高く保ちリズムをつかみ出す。塚本、鈴木らが啓北のギャップを蹴ってスルーパスを送るが、啓北も久保田が的確なカバーリングでチャンスの芽をつみとる。永山南は17分は浅見が右サイドを突破しセンターリング、こぼれたところを鈴木が



ボレーでねらうがわずかにゴール上に外れる。啓北は右サイドからの長いクロスボールを入れ、逆サイドから横山、鈴木が飛び出し永山南守備陣に警戒心を与える。18分、前がかりになった永南の背後をついて、ショートカウンターから啓北が追加点を奪う。中盤でボールを奪って右サイドの大友が相手DFに競り勝ってグラウンダーのセンターリング。横山がスルーしてところを鈴木が狙いすましてゴール左隅に流し込んだ。さらに22分には鈴木のスルーパスから大友がDFラインの裏に抜け出してGKの出際をふわりと浮かして落ちて流し込み3点目を奪う。26分にも鈴木が自陣からドリブルに乗って突破し好シュートを放つが、永南GK中田がセービングで逃れる。ゲームを支配する時間帯が長かった永山南だが、啓北がショートカウンターからの高い決定力を見せ、3点のリードで前半を終えた。

後半は3点を追う永山南が高い位置でボールを支配し、圧力をかけ攻勢に出る。浅見、鈴木がバイタルエリアでボールを受け、啓北ゴールに迫る。しかし、若田、久保田のCBに加え、中盤の深見までが最終ラインに下がり密集して守る啓北のゴールを割れない。中盤で

相手のパスミスを奪うと、一気に左サイドの横山に渡ってゴールラインにまで到達する高速カウンターで完全に啓北のペースとなる。39分には横山が左サイドを突破、永南守備陣がセンターリングの対処に手こずる間に大友が蹴り込んで4点目を奪う。42分永山南は吉田からのスルーパスに抜け出した鷺見がGKをかかわして1点を返す。46分には中田のキックから森永が相手DFと競り合いながらシュートを放つなど、1点を返して勢いが出る。しかし、啓北の攻撃陣のドリブルのスピードとキープ力は鋭く、鈴木 of チャンスメイクから藤原が決定的をつかむなど、永南の攻撃に牽制を与える。最後まで久保田をリーダーとしながら守備の高い集中力は続き試合は終了。ブロックを組み、守備に人数をさきながら、前線のタレントの個の力を全面に押し出しショートカウンターからの鋭い攻撃を見せた啓北が高い決定力を生かし、4対1で啓北が永山南に快勝し、8年ぶりに決勝へと進出した。

北門 4-0 (2-0) 北星

得点者 畑 (0分), 荒瀬 (6分, 34分), 石澤 (42分) (北)

警告 石澤 (北)

北門 GK 中村 DF 長岡, 森, 鈴木颯, 鈴木恭 MF 岡, 畑, 田中, 高柳 FW 荒瀬, 石澤 交代/F P 丸山, 三浦, 山本

北星 GK 伊場 DF 本間, 本谷, 金尾, 高島聖 MF 佐藤, 浅川, 小野, 高島優 FW 船越, 大瀧 交代/F P 西田, 向井, 膳法

準決勝B ピッチはブロックカブスチームの強豪緑が丘を1-0で破り、11年ぶりに管内大会出場を決めた北星と2回戦、準々決勝ともに大量得点で順当に勝ち上がった北門の対戦となった。

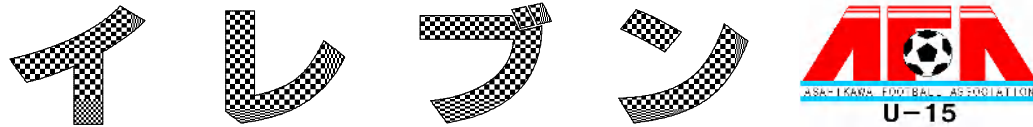
北門のKickoffで開始。立ち上がり、両サイドの石澤、高柳が北星PAに進入、北星のマークがつききれないところを田中が畑にロビング、ゴール前フリーで落ち着いてヘディングで決め早くも先制する。これで落ち着いた北門は両サイドの石澤、高柳をワイドに使い北星陣内への侵入を繰り返す。5分、畑が中盤から縦パス、石澤がDFを引きつけながらこれをスルーするとゴール正面の荒瀬につながら豪快に右足を振り抜き2点目を挙げる。

早い時間で2失点した北星だが、北門のスピードにも慣れ、浅川、小野らが中盤で踏ん張り、サイドへの配球をカットする場面が増える。DFラインもGK伊場を中心に高島、木谷らが粘りを見せ、決定機を掴む。徐々に陣地を回復した北星にもチャンスが訪れる。14分、DFラインからのクリアボールが北門DFの裏まで伸びるとFW船越がセンターバックを交わしGKと1VS1となる。決定機かと思われたが中村が勇敢に飛び出し、シュートは枠を外れる。続く18分にも北門サイドでのフリーキックを得るがシュートまで至らない。終盤は北門が押し気味にゲームを組み立てゲームを支配。北星もペナルティエリア前で2ラインのブロックをつくり北門の横パスのインターセプトを狙う。パス回しからの鋭い縦パスに高島がよく対応し。追加点を許さずに前半を終える。

気温が上昇し、さらに消耗がいられる後半も立ち上がりは北門ペース。4分右サイドの田中のコーナーキッカーをファーサイドから走り込んだ荒瀬が左のインサイドで流し込み3点目をあげる。北星もDFからのロングフィードで前線の船越、西田に送るが、押し上げがないため孤立気味となり、攻撃の厚みを出せない。12分、北門右サイドバックの星がオーバーラップ、サイドから低いクロスをあげるとGK正面の田中がスルー。走り込んだ石澤がインサイドで当てて試合を決める4点目をあげる。

一矢報いたい北星は、DFのフィードを左右に振り、北門のサイド裏を狙う。15分には船越が左サイドを抜けてエリア内にドリブル、小野がシュートチャンスを得るがGK中村の好セーブに阻まれる。終盤に左サイドでフリーキックを得て佐藤が高さのある善法、船越にあわせるも決定機に至らず。北門が昨年)に続き決勝に駒を進めた。





平成26年7月14日発行

北門が3年ぶり13度目の優勝！ 第67回旭川市中学校連盟サッカー大会

平成26年度第67回旭川市中学校連盟サッカー大会は、7月3日（木）に東光スポーツ公園で決勝が行われました。第1シードの啓北、第2シードの北門の対戦は、北門の攻撃力が啓北を圧倒、6対2で勝ち3年ぶり13度目の優勝を果たしました。

決勝 7月3日（木）東光スポーツ公園

北門 6-2 (3-2) 啓北

得点者 畑 (12分, 48分), 鈴木颯 (25分), 田中 (29分), 0・G (45分), 石澤 (55分) (北) 大友 (8分, 26分) (啓)

北門 GK中村 DF長岡, 森, 鈴木颯, 三浦 MF岡, 畑, 田中, 高柳, 石澤 FW荒瀬 交代/F P鈴木恭, 伊藤

啓 GK平野充 DF久保田, 細川, 若田, 上野, MF鈴木, 藤原, 深見, 工藤, 大友 FW横山 交代/F P秋葉, 平野充

炎天下の中で行われる決勝、立ち上がりはスローテンポで互いに出方をうかがうように始まった。3分には石澤のスルーパスから荒瀬がスピードによって相手陣内に迫りシュートを放つがサイドネットに終わる。北門は畑、田中で中盤を組み立てながら、右サイドの高柳から突破を図る。やや北門押し気味で進む中、啓北は得意のショートカウンターから先制点を奪う。8分横山から右サイドのスペースに出た藤原にサイドチェンジ。藤原が折り返したところを大友が20mの距離からミドルシュートを決めて先制する。しかし、12分北門は田中からのスルーパスに中盤から畑が飛び出し、最後はGKまでかわして同点ゴールを決める。北門はさらに攻撃を加え、15分には高柳からのスルーパスに反応した石澤があわやというシュートを放つ。先制点はいい形で奪った啓北だが中盤でなかなか相手ボールを奪えない。そのため、鈴木が前を向いてプレーできずなかなかカウンターをしかけられない。北門はシュートで終わる理想的な形が続

き、17分には鈴木恭のロングフィードを起点に高柳がペナルティエリア内で相手DFをかわして右に持ち出し強烈なシュートを放つ。25分北門はCKの守備から鈴木颯がカウンターを仕掛け、左サイドのスペースに飛び出した荒瀬にパス。荒瀬は相手DFを振り切り中に入れると、パスを出した鈴木颯がGKとの1対1を落ち着いて決めて逆転する。しかし、啓北は直後の26分、右からのショートコーナーを鈴木がシュート気味に中に入れるとディフレクションしたボールは大友の前にこぼれ右足でプッシュし、すぐに同点に追いついた。29分北門は、鈴木颯がハーフウェー付近からロビングボールを入れると、ゴールエリア右角に走り込んだ田中がワントラップし、浮き球を右足アウトサイドで技ありぼゴールを決め、再び突き放し前半を終えた。

後半は立ち上がりから啓北が攻撃の形を作る。開始直後の31分、啓北は細川の縦へのフィードから横山が抜け出したところでファウルを受けFKを得る。大友が直接狙うがGK中村の正面をつく。35分には久保田の自陣からのFKが相手守備陣の連携ミスをつき、大友がシュートをねらうが中村が好セーブをみせ防ぐ。炎天下の2戦目ということもあり、両チームとも運動量が落ちる。両チームとも相手の積極的な仕掛けに対応が遅れ始める。38分北門は中盤から斜めにスルーパスを入れると、すばらしいタイミングで走り込んだ石澤がGKまでかわして追加点かと思われたが、啓北DF上野があきらめないカバーでゴール前でクリアする。39分には啓北鈴木がハーフウェーから4人を次々とかわしてゴールに迫るが、惜しくも左にシュートはそれる。40分にも鈴木が30mの距離から強烈なシュートを放つなど、運動量が落ちる中、個の力で打開を図る。しかし、運動量の低下は啓北守備陣の方に重くのしかかり、中盤でボールを奪えず守勢に回る。44分北門は畑が中盤で相手をかかわしながらシュート。こぼれたボールをもう一度コントロールし、右サイドの高柳にパスは高柳が一瞬のうちにトップスピードにのりゴール前に切れ込んでシュート気味のクロスを入



れると、相手DFのオウンゴールをうみ貴重な4点目を奪った。続く47分にも中盤で相手ボールを奪った高柳が右サイドを疾走し、ゴールに迫ると深見がすばらしいカバーリングするものの、その相手が所持しているボールを高柳がスライディングしながら強引にうったシュートが右ポストに当たるなど北門が完全に試合を支配する。そして、48分畑が荒瀬との壁パスからペナルティエリアに進入すると、右足インサイドで落ち着いて流し込み、だめ押しともいえる5点目を奪った。55分北門は中盤でためを作った畑が右サイドの高柳にDFのギャップをついてパスを送ると、高柳はスピードによってゴールラインまでいき折り返すと、待ち構えていた石澤が流し込みみ優勝に花を添える得点を決めた。予想外の4点の差はついたが、決勝にふさわしい好試合を北門が制し、3年ぶり13度目の優勝を果たした。



優勝 旭川市立北門中学校

第2位 旭川市立啓北中学校

得点王 畑 歩夢 (北門中学校3年)

ベストイレブン

GK伊場颯太郎 (北星中学校3年)

DF久保田将平 (啓北中学校3年)

DF鈴木 択采 (広陵中学校3年)

DF大杉 圭亮 (永山南中学校3年)

MF鈴木 周人 (啓北中学校3年)

MF吉田 翔哉 (永山南中学校3年)

MF田中 寿明 (北門中学校3年)

MF畑 歩夢 (北門中学校3年)

FW横山 耀 (啓北中学校3年)

FW荒瀬 一輝 (北門中学校3年)

FW高柳 稔 (北門中学校3年)

優秀選手

GK唐太 玲人 (広陵中学校3年)

GK青山 隼也 (緑が丘中学校3年)

GK中村 昂永 (北門中学校3年)

DF橋本 楽也 (明星中学校3年)

DF松山 光喜 (東光中学校3年)

DF星 来希 (広陵中学校3年)

DF高島 聖鷹 (北星中学校3年)

DF森 勇真 (北門中学校3年)

MF藤原 洸太 (啓北中学校2年)

MF佐々木貴亘 (明星中学校3年)

MF荒 泰河 (六合中学校3年)

MF藤本 爽太 (神楽中学校3年)

MF林 輝一 (神楽中学校3年)

MF須藤 大智 (永山南中学校2年)

MF浅見 文晶 (永山南中学校3年)

MF堀 貴裕 (緑が丘中学校3年)

MF小野 悠和 (北星中学校3年)

MF本庄 空 (春光台中学校3年)

MF谷垣亮磨 (東明中学校3年)

FW大友 海斗 (啓北中学校3年)

FW加藤 光 (東光中学校2年)

FW藤田悠冴 (東明中学校2年)

FW芝崎 龍都 (忠和中学校3年)

第3位 旭川市立永山南中学校

旭川市立北星中学校

得点王 畑 歩夢 (北門中学校3年) 大友 海斗 (啓北中学校3年) 6得点

ベストイレブン

1. 畑 歩夢 (北門中学校3年) 6

大友 海斗 (啓北中学校3年)

3. 荒瀬 一輝 (北門中学校3年) 5

4. 小野 悠和 (北星中学校3年) 4

石澤 蓮太 (北門中学校3年)

6. 藤本 爽太 (神楽中学校3年) 3

横山 耀 (啓北中学校3年)

田中 寿明 (北門中学校3年)

加藤 光 (東光中学校2年)

10. 矢口 壮汰 (明星中学校3年) 2

鈴木 周人 (啓北中学校3年)

室井 華音 (愛宕中学校3年)

原田有希也 (光陽中学校3年)

藤原 洸太 (啓北中学校2年)

三好 琉聖 (緑が丘中学校2年)

樋口 迅人 (広陵中学校3年)

須藤 大智 (永山南中学校2年)

藤井康嗣郎 (附属中学校3年)

藤田 悠冴 (東明中学校2年)

宿谷 柚貴 (東明中学校3年)

21. 中島朋希, 佐々木貴亘 (明星中3年)

吉澤 晟 (神居東中3年)

芝崎龍都, 鈴木三平 (忠和中3年)

金尾滉也, 高島優潤 (北星中2年)

山崎英世 (春光台中2年)

林輝一 (神楽中3年) 秋葉大輝 (啓北中3年)

高柳稔, 鈴木颯太 (北門中3年)

鶴羽 雅人 (緑が丘中3年)

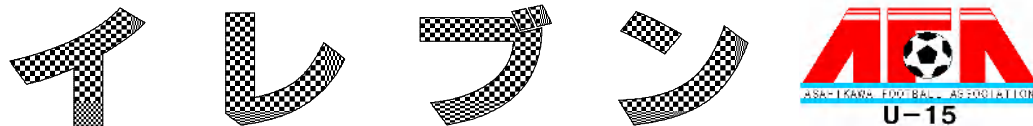
安念渉太, 松尾陸斗, 大曾根秀一 (広陵中3年)

櫻井 琢 (広陵中2年)

前川史弥, 塚本俊平, 浅見文晶 (永南中3年)

鷺見 知也 (永山南2年)

山本 英敏 (東明中2年) 1点



平成26年7月14日発行

東川中、富良野西中が優勝！

富良野・中央地区中連サッカー大会

平成26年度の富良野地区と中央地区の中連サッカー大会は7月第67回旭川市中学校連盟サッカー大会は、7月3日（木）に行われ、東川中と富良野西中がそれぞれ勝ち、上川代表決定戦への出場権を獲得しました。

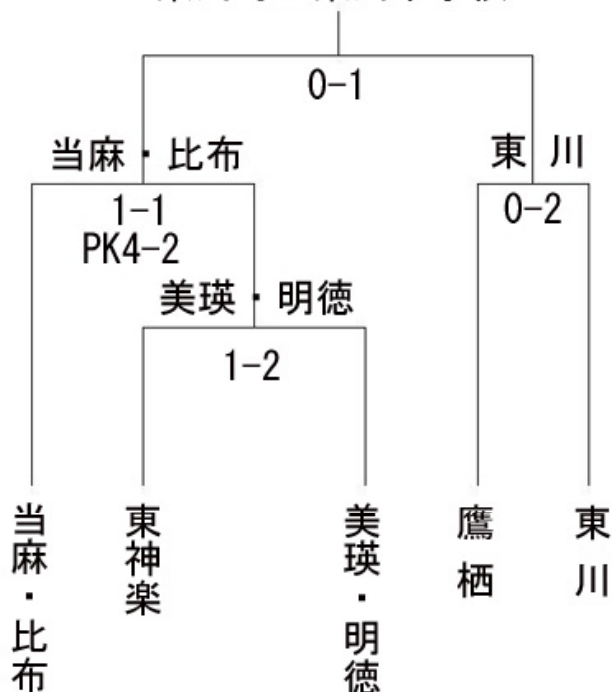
東川中と当麻・比布中の決勝戦。前半、東川のキックオフ。前半の立ち上がり、東川がパスをつなぎながら攻撃し、添田のシュートが惜しくも枠を外し、松村がこぼれ球をシュート。続くコーナーキックを栗林がシュートするが枠を外してしまう。開始4分、右サイドからボールを奪った栗林がドリブルで駆け上がり、シュートし先制点をあげる。

当麻もサイドのスペースから佐藤が駆け上がりゴールを狙うがシュートまでいけない。続いて、東川はゴール前に絶妙なパスが送られ、栗林がシュートに行くが、当麻のディフェンスに阻まれてしまう。さらに東川は添田がゴール前にドリブルで切り込むが当麻の堅いディフェンスを突破できない。その後も、東川は十河がサイドを駆け上がり、中央の添田とワンツーを交わすなど、攻撃を続ける。当麻はディフェンスラインでボールを奪うが前線にボールをつなぐことができない。終了間際に東川は添田のコーナーキックを金山が合わせたが追加点とならず。また、ゴール前中央で受け取った栗林のシュートは惜しくも外れてしまう。

後半に入り、5分添田が中央で奪ったボールを松村に絶妙なスルーパスを出し、キーパー浅見と1対1になるが、飛び出した浅見に阻まれる。東川はサイドのスペースを使いゴールを目指す、当麻ディフェンスは堅い守りをみせ、シュートさせない。40分、東川は十河のクロスが松村が合わせるがキーパーにキャッチされる。45分、東川はゴール前で金山、遠藤、十河でパスを回しながら当麻を崩し、金山がシュートするがゴールならず。当麻は野村、川口を中心に東川ゴール前にボールを入れ反撃するが、シュートまでもっていけない。51分には野村のロビングボールが東川ゴール前に入るがキーパーにキャッチされる。

東川は松村が積極的にディフェンスの裏に飛び出し、シュートを狙うが、当麻キーパー浅見の好判断により追加点を奪えない。当麻はフリーキックを得て最後の反撃に出るが、シュートまで持っていけず、タイムアップ。上川中央地区は東川が優勝を飾った。

東川町立東川中学校

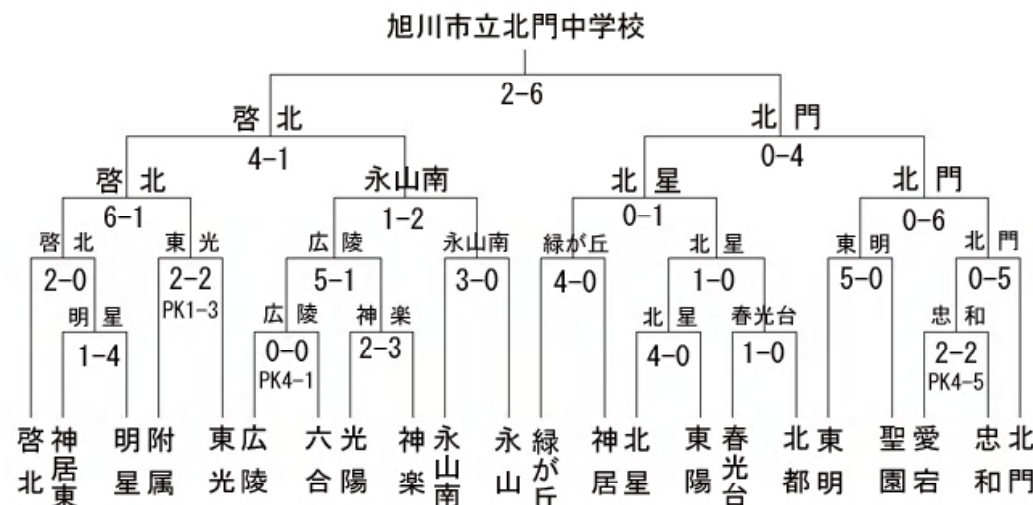


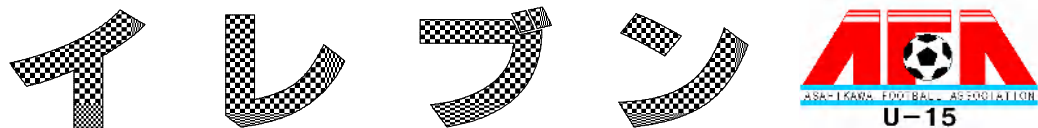
1回戦
富良野西 1-0 (1-0) 中富良野
得点者 尾崎 (富)
前半23分, ⑦尾崎がDFラインの裏に抜け出しそのままドリブルで持ち込みシュート

上富良野 1-0 (0-0) 富良野東
得点者 佐藤 (上)
後半19分, FKのこぼれ球を⑩佐藤が拾い、豪快に蹴り込んだ。

決勝戦
富良野西 2-1 (1-1) 上富良野
得点者 齋藤, 尾崎 (西) 湯場 (上)
長いボールを使う西中と、つないで崩そうとする上富良野。一進一退の攻防はアディショナルタイム直前に西中⑦尾崎がDFラインの裏を取り冷静にゴールに流し込み勝利を取めた。

中連旭川大会の結果





平成26年7月14日発行

永山南と北門が順当にベスト4へ 平成26年度上川代表決定戦

平成26年度の上川代表決定戦は、7月11日に士別天塩川サッカー場で1回戦が行われました。第1試合では永山南が啓北と対戦、開始早々から須藤、塚本らが得点を重ねた永山南が旭川第2代表の永山南を4対1で破りました。北門は、14分高柳、27分畑と得点し、東川に快勝しました。

1回戦 士別天塩川サッカー場 7月11日(金)

永山南4-1(3-0)啓北

得点者 須藤(7分)、塚本(9分)、森永(21分)、樋口(39分)(永)
鈴木(16分)(啓)

永山南GK中田 DF大杉、土田、前川、鷺見(長屋) MF須藤、吉田、塚本(林、鈴木)、浅見 FW樋口(野原)、森永

啓北GK平野充 DF久保田、細川、若田、上野 MF鈴木、藤原(秋葉)、深見、工藤、大友(平野友、栗本) FW横山

上川代表決定戦Bピッチの第1試合は、旭川市中連準決勝の再現となった。開始直後永山南は相手陣内に大きくボールを蹴り込み、前線から圧力をかけ、23秒には吉田がファーストシュートを放つ。さらに2分には吉田のスルーパスに森永が飛び出しGKと1対1になるがシュートは左にそれる。吉田、須藤もくさびのボールよりも、森永をターゲットに早めのボールを相手DFの裏に入れる慎重な立ち上がり。啓北は、重心を下げながら切り替えの早い攻撃を見せる。永山南守備陣の前のギャップを、大友、横山が利用しながら、中盤から飛び出して来る鈴木がからんで攻撃をしかける。7分永山南は右サイドで森永から短いパスが渡り、浅見がドリブルでペナルティエリアに進入。折り返したところを須藤が合わせて先制する。9分には森永へのロングボールのこぼれ球を浅見が拾い、左サイドのスペースへパス。走り込んだ塚本がインサイドへカットインしながらGKもかわして2点目を決める。この2点で余裕をもてるようになった永山南は浅見に須藤がからみながら横パスを織り交ぜ、ボール支配率を高める。左サイドからは鷺見も再三オーバーラップをしかけ、厚みのある攻撃を見せる。前線の森永にもボールがよく収まり、啓北の守備陣を大きく下げる。そのため、啓北はボールを奪う位置が自陣低く押し込められカウンターに移れない。永山南は啓北のスピードある横山には大杉が対応し、シュートを打たせない。21分永山南は樋口からの横パスを受けた森永が浅見とのワンツーからDFラインを突破し、ゴール左に蹴り込んで大きな3点目を決める。その後も永山南の攻勢は続き、樋口、森永、塚本らが立て続けに決定機を迎える。永山南が前線からの高いポジションと前線からの圧力で、鈴木と大友、横山のホットラインを分断。カウンターの起点を作らせないことにより啓北をシュート0に抑え、3点のリードで前半を終えた。

後半も永山南は開始35秒で森永の右サイドの突破から浅見がシュートチャンスをつかみ、啓北の氣勢をそぐ。しかし、1点を返したい啓北は徐々に前がかりになって反撃が出る。上



野と交代出場した平野友を基点に右サイドから攻撃を組み立てる。鈴木、大友も高い位置でボールをさわることはできはじめ、38分には工藤のパスから横山が左サイドを突破。最後は鈴木が啓北の初シュートを放つ。しかし、リズムをつかみはじめた啓北に永山南は勢いを失わせる追加点を奪う。38分浅見とのパス交換から塚本がゴール前にドリブルで進み、森永との壁パスから再び密集をドリブルで突破しようとした塚本が倒されPKを得る。このPKを樋口が落ち着いて決めて4対0とする。しかし、46分啓北は横山のパスを受けた鈴木がドリブルで相手守備陣を抜き去って1点を返す。この1点で息を吹き返した啓北は37分鈴木が再びドリブルでしかけGKと1対1となるが、永山南土田のプレッシャーとGK中田の前への飛び出しで、かろうじて防ぐ。前半から運動量豊富に走った両チームは消耗が激しくなり、徐々に前線と最後尾が間延びして、攻め合いの様相を生み出す。52分には吉田のパスを基点に鈴木のアシストから森永がゴールポストに当たるシュート。54分にも吉田のクロスから森永が決定機をつかむ。啓北も55分鈴木のアシストから栗本が決定的なシュートを放つが、永山南GK中田も好セーブを見せCKに逃れる。57分の秋葉のシュートもゴールバーを外れる。終盤の啓北の猛攻を大杉を中心とした守備と中盤を激しく動き回る吉田の運動量で防いだ永山南が旭川大会の雪辱を果たし、準決勝へと勝ち進んだ。

北門3-0(2-0)東川

得点者 高柳(14分)、畑(27分)、石澤(40分)(北)

北門GK中村 DF長岡(三浦)、森、鈴木颯、鈴木恭 MF岡(山本)、畑(伊藤)、

田中、高柳、石澤(釜土) FW荒瀬

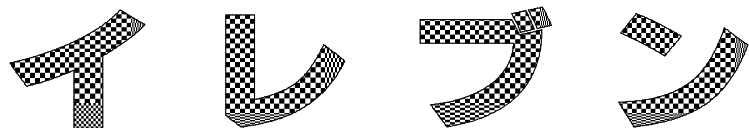
東川GK阿部 DF高橋、中谷(石倉)、千葉(脇)、景井 MF黒川、金山(遠藤)、

添田、十河(中野) FW松村、栗林

旭川地区1位の北門中学校と、中央地区1位の東川中学校の対戦は、東川中学校のキックオフで始まる。北門は、畑、田中、高柳を中心にパスをつなぎ崩しにかかるが、コンパクトに守る東川ディフェンスラインを崩せない。6分、センターサークル付近でパスカットした北門は、右サイド高柳がサイドバック裏のスペースにスルーパス、絶妙のタイミングで荒瀬が抜け出しGKとの1対1となるも、東川GK阿部の好セーブによりチャンスを生かせない。サイドチェンジを繰り返しながら裏を狙う北門と、早い寄せで自由にさせない東川と、試合は膠着してくる。しかし、均衡を破ったのは北門中学校、14分高柳からの、右サイドのスペースへのスルーパスに荒瀬が反応、中のスペースに流れ、もう一度中でもらった高柳が落ち着いてシュート、北門が先制点を挙げる。その後も畑、田中が、石澤、高柳を使ってワイドに攻める北門と、コンパクトに早い寄せと人数をかけて守る東川の展開となる。このまま終わると思われた27分、ゴール前の荒瀬からの折り返しを高柳が田中へシンプルにたたき、田中が落としたところへ畑がシュート、北門が追加点を得て、2点をリードして前半を終える。

後半も北門がボールを支配し、東川はディフェンスに回る時間が続く。ワイドに展開し、石澤、高柳がチャンスめくする北門だが、高橋を中心に粘り強いディフェンスで東川が対応する。東川にとっては苦しい時間が続く。39分、左サイドハーフライン付近でPKを得た北門は、鈴木絶妙のクロスに石澤が頭であわせて3点目を挙げる。終始丁寧なパスでゲームを支配した北門中学校が3-0で勝利し、準決勝へ進出を決めた。





平成26年7月14日発行

残る2枠は北星と美深が準決勝へ！ 平成26年度上川代表決定戦

平成26年度の上川代表決定戦は、7月11日に士別天塩川サッカー場で1回戦が行われました。道北地区対決となった美深と士別南は瀬川のハットトリックで美深が勝ちました。北星は53分西田の決勝点で富良野西を振り切りました。

美 深 4 - 2 (2 - 1) 士別南

得点者 瀬川 (7分, 28分, 38分), 丸山優 (39分) (美)

喜多亮 (12分), 喜多珠 (41分) (士)

美 深 GK 村田 DF 結城 (丸山優, 伊東), 大槻, 坂井, 杉本 MF 丸山光, 芳賀奏, 中山, 田坂, 武藤 FW 瀬川

士別南 GK 牧野 DF 山本, 櫻田, 法邑, 佐藤 MF 喜多亮, 大坊流, 由井, 藤原, 西川 FW 喜多珠 (大坊斗, 小出), 二宮

Bピッチでの第2試合は道北地区協会の士別南と美深の対戦となった。士別南は相手のゴール前へ縦へのフィードから、こぼれ球を拾って攻撃を展開する。対する美深は芳賀、丸山光が中盤を組み立てながら左右にボールを散らせながら、アタッキングサードでは瀬川のスピードをいかして、攻撃のチャンスをつかむ。

2分士別南は大坊流が相手のミスパスをインターセプトし、喜多亮がファーストシュートを放つ。対する美深は7分芳賀のスルーパスに抜け出した瀬川が相手GKとの1対1を落ち着いて決めて先制する。12分士別南は由井の右サイドへの展開を基に、右サイドを深く切り込んだ二宮がマイナス気味に折り返すと、喜多亮がインフロントでGKの頭上を破るシュートをサイドネットに決め同点に追いつく。士別南は右サイドの大坊流を積極的に使い、次第にサイドからの崩しを狙い出す。一方の美深は瀬川のスピードを生かしてフィニッシュまで持ち込む。15分美深は瀬川の突破から芳賀がシュート気味のパスをゴール前に送ると武藤が合わせるがボールはゴールバーを越える。19分には中山の縦パスから瀬川が抜け出すシュートはゴール右へとそれる。続く20分にも瀬川は右サイドから中へと切れ込みながら左足でシュートを放つがボールは同じような弾道を描きながらそれていく。美深は瀬川が前を向いてバイタルエリア周辺でボールを受ける機会が増えると、シュートに結びつくようになり、優勢に試合を進める。27分にもバイタルエリアでボールを奪った瀬川がそのままドリブルで相手DFを抜き去って追いついてゴール右隅に流し込み再びリードを奪った。士別南も由井がシュートチャンスをつかむがいずれもGK村田の正面をついてゴールには結びつかない。前半は瀬川のスピードから2点を奪った美深が2対1のリードを奪って折り返した。

後半は中盤で芳賀にボールが集まる美深のペースで開始する。士別南も大坊流の突破からの折り返しを喜多珠がからんで由井がミドルシュートを狙って応酬する。士別南は再三二宮、大坊流が37分美深は丸山光のスルーパスに抜け出した瀬川が右足でスワープをかけながら、ゴール右上に狙い澄ましたシュートを決めてハットトリックを完成し、士別南を突き放すさらに、39分には瀬川のシュートのこぼれ球を丸山優が蹴り込んであっという間に3点のアドバンテージを握る。しかし、士別南も41分二宮が右サイドを突破してうったシュートのこぼれ球を喜多珠がつめて1点を返す。点の取り合いとなった試合は、互いにシュートを打ち合う場面が多くなりスリリングな試合展開となる。士別南はリズムがよくなり、



二宮、喜多亮、大坊流の距離が短くなり、ショートパスから丁寧な展開を見せ、美深を押し込み出す。押し込まれる時間が続いた美深だが、坂井、杉本のCBコンビを中心に粘り強く守備し、リードを守りきり準決勝へと勝ち名乗りをあげた。

北 星 1 - 0 (0 - 0) 富良野西

得点者 西田 (53分) (北)

警告 高島優 (北)

北 星 GK 伊場 DF 本間, 本谷, 金尾, 高島聖 MF 佐藤, 浅川, 小野, 高島優

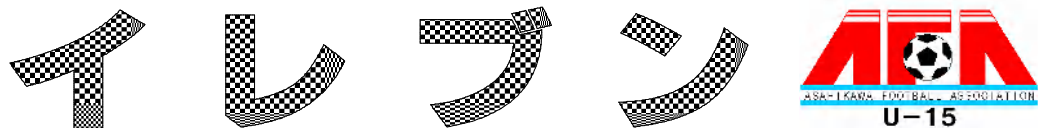
FW 船越 (西田), 大瀧

富良野西 GK 鈴木 DF 菊池, 砂田, 前田, 西川 MF 小嶋, 仁科 (河内), 日下, 斉藤, 藤澤 (上野) FW 尾崎

上川代表決定戦初出場の富良野西中学校と11年ぶり11度目の出場となる北星中学校の対戦となった第2試合は北星中学校のキックオフで始まった。開始早々攻め込む3分、北星は左サイドの浅川がゴール前に放り込んだクロスに船越が頭であわせるが、枠をとらえず。5分、小野が左サイドから中央へ切り込み、ゴール右隅へシュートを放つが、富良野西GK三上がファインセーブし、得点できず。7分、コーナーキックからのカウンターを仕掛けた富良野西は中央で張っていた小島が、ディフェンスラインを抜けてGKと1対1となり、シュートを放つが枠を外れる。10分、左サイドからパスを受けた小野が、ドリブルから、右の裏のスペースにスルーパス、浅川がダイレクトシュートを放つのも三上が正面でキャッチする。何度となくチャンスをつかむ北星だが、菊池の体を張ったディフェンスと三上のファインセーブに決めきれない。12分北星浅川のループシュートはGKの頭を超え、ゴールへ吸い込まれるかに見えたが、富良野西の前田がぎりぎり蹴り出し、富良野西はピンチを逃れる。17分富良野西がカウンターから初のコーナーキックを得るが、ボールはGK伊場が直接キャッチする。18分、北星船越がペナルティエリア外からはなったミドルシュートはクロスバーを直撃、惜しくもゴールとはならない。23分、左サイドから佐藤があげたアーリークロスに朝霞は併せてシュートするも、大きくバーを超えていく。前半は北星がボールを支配し、怒濤の攻撃を見せるも、苦しい時間の連続だったが、GK三上を中心に富良野西が守りきり、スコアレスドローで終える。

後半開始早々、右サイドでFKを得た富良野西だったが、ゴール前に放り込んだクロスは北星伊場がキャッチ、カウンターで船越が一人で持ち込みシュートを放つが、ゴールを外れる。北星は積極的に前からプレッシャーをかけて高い位置で奪いにかかる。一方、富良野西はしっかり守ってカウンターを狙う展開となる。34分、富良野西は左サイドコーナー付近から尾崎が速いグラウンダーのクロスを入れ、仁科があわせるが、伊場がキャッチする。39分、北星はコーナーキックに浅川が頭に合わせるが、またもクロスバーにはじかれる。50分、交代で入った西田が前線で動き、ボールを引き出しチャンスメイクし、流れを北星が引き寄せた。53分、中央でボールを受けた西田が30mのロングシュートを豪快にゴール右隅に突き刺し、北星が待望の先制点を得る。富良野西は追いつきたいところだったが、そのまま試合終了。1 - 0で北星が勝利した。





平成26年7月14日発行

永山南と北門が決勝へと進出！ 平成26年度上川代表決定戦

平成26年度の上川代表決定戦は、7月12日に士別天塩川サッカー場で準決勝が行われました。永山南は美深に対し、1分の浅見の得点を皮切りにゴールラッシュし、4対0で快勝しました。北門も北星に対し、12分の高柳の得点で先制した北門はその後石澤の2得点などで同じく4対0で快勝し、決勝に進みました。

準決勝 7月12日(土) 士別天塩川サッカー場

永山南 4-0 (3-0) 美深

得点者 浅見 (1分), 0-G (25分), 鷺見 (27分), 須藤 (51分) (永)

警告 大杉 (59分) (永)

永山南 GK 中田 DF 大杉, 土田, 前川 (北野), 長屋 MF 須藤 (伊藤),
浅見 (小泉), 吉田 (高橋), 鷺見 (高谷) FW 樋口 (野原), 森永 (鈴木)

美深 GK 村田 DF 結城 (田坂), 坂井, 大槻, 杉本 MF 中山, 丸山光, 芳賀奏,
伊東, 武藤 FW 瀬川

上川代表決定戦準決勝Aピッチは、美深のキックオフで始まった。開始早々から前線から激しいプレッシャーをかける永南は、浅見がゴール前でボールを奪取、そのまま豪快に振り抜きゴールに突き刺し、わずか15秒で永南が先制する。美深も2分に右サイドでFKのチャンスを得ると、伊東が放り込んだクロスに武藤が頭であわせるが、惜しくも枠をとらえない。5分、美深は瀬川が左サイドハーフライン付近でボールを受けると、スピードに乗ったドリブルで突破をはかり、



ペナルティエリア付近で豪快にシュートを放つが、わずかに外れる。両チームともインターセプトを狙い、中盤での激しい奪い合いが展開される。美深はシンプルにディフェンスの裏にロングボールを入れ、武藤を走らせる展開。一方永南は、吉田を経由して攻撃を組み立てる。15分、美深は瀬川がパスカットから永南ゴール前に侵入するが、大杉を中心としたディフェンスに阻まれ、永南吉田がカットしてそのままスピードに乗ったドリブルで速攻に出る。鷺見とのワンツーで抜け出すが、坂井がカットし、フィニッシュまで持ち込めない。21分、コーナーキックを得た美深は瀬川がゴール前に蹴り込み、坂井が頭であわせるが大きく外れていく。23分、永南は森永がファーストタッチでディフェンスのギャップを抜け出し、絶好のチャンスとなるが、坂井が必死に追いつきクリア、なかなかゴールを割れない。25分、永南が右サイドからのクロスがゴールへながれ、美深大槻が頭で必死にクリアしようと試みるが、そのままオウンゴールとなり、永南が追加点を挙げる。27分、たたみかける永南は右サイドからグラウンダーのスルーパスを受けた鷺見がコントロールしてシュート、3点目を挙げ、前半を3-0永南リードで折り返す。

後半はリードしている永何のキックオフで開始する。永南は、吉田と浅見が顔を出し、攻撃を組み立てる。35分、美深は結城のクリアを拾った瀬川が70mの速いドリブルで一気にゴール前に侵入するが、シュートを打ちきれない。土田のパスカットから浅見が中央でボールを受けると、樋口が裏をとりスルーパスに反応、ゴール前に角度のないところからクロスをあげるが、GK橋田が倒れ込みながらキャッチする。土田・浅見・樋口で右サイドから崩しにかかる永南だが、フィニッシュまで持ち込めない。51分、永南は左サイドハーフライン付近でFKを得ると、大杉が浅見に縦パスを入れると、須藤に落とし、落ち着

いてゴール左に蹴り込み追加点を得る。1点がほしい美深だが、吉田・浅見を中心とした永南のシンプルな組み立てになかなか活路を見いだせない。57分永南は、野原・浅見・須藤と簡単につないでシュートまで持ち込むが、クロスバーを大きく超えていく。終始攻撃の手を緩めなかった永南がゲームを支配し、4-0で決勝進出を決めた。

北門 4-0 (1-0) 北星

得点者 高柳 (12分), 石澤 (45分, 47分), 田中 (54分) (門)

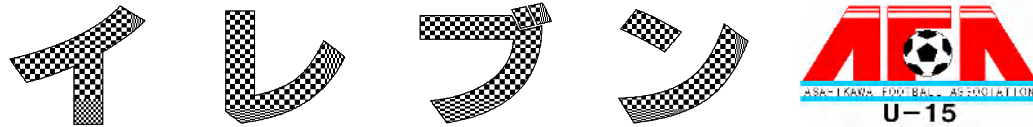
北門 GK 中村 DF 長岡 (中西), 森, 鈴木恭, 鈴木颯 MF 高柳, 岡, 石澤, 田中,
畑 (三浦) FW 荒瀬 (伊藤)

北星 GK 伊場 DF 金尾, 本間, 本谷, 高島聖 (膳法) MF 高島優 (向井), 浅川,
小野, 佐藤 (清野) FW 船越 (西田), 大瀧

準決勝Bピッチは、北星と北門の旭川市中連の準決勝と同一カードとなった。序盤北門右サイドの高柳から攻撃を仕掛け、2分には長岡の縦パスから荒瀬が右サイドを抜け出て、田中を経由して石澤にパス。石澤のクロスに荒瀬が合わせて最初のチャンスをつかむ。荒瀬へのくさびのボールを入れながら、畑、田中が中盤を細かなパスで組み立てる北門は、サイドに一旦当てながらクロス気味に逆サイドへのロングフィードも使って北星DFラインのギャップを狙う。ボールを支配される時間が多い北星は、3ラインをコンパクトにしながら、我慢の時間が続く。サイドバックの高島聖が中央まで幅広くカバーしながら守備をする。攻撃では船越をターゲットにカウンターから攻撃をしかけるが、小野が自陣深くに押し込められ攻撃が単発となる。11分自陣からの森のロングフィードから相手DFのミス誘い、抜け出した高柳がGKとの1対1を決めて先制する。直後の12分にも田中のスルーパスから高柳がサイドをえぐり、折り返しを畑が狙うなど北門のペースが続く。それでも16分北星は大瀧のクロスから船越が折り返し、小野が飛び出す北門GK中村も判断よく飛び出し、ピンチをしのぐ。前半半ばからは北門が中盤での組み立てのパスを相手選手に引っかけようになり、その結果長いボールが多くなる。そのボールに対しては本間、本谷らははじき返し、北門もリズムをつかめなくなる。また、北星の中盤小野、浅川の守備意識も高く、膠着状態が続く。28分北星はゴール前25mの距離でFKを得る。佐藤の強烈なシュートはGK中村の正面につき、前半は北門1点のリードで折り返した。後半北門は左サイドの鈴木恭を起点に追加点を狙う。石澤への縦パスから田中、畑がからんでシュートチャンスを狙う。34分には鈴木恭のクロス気味のロングパスにダイアゴナルに走り込んだ荒瀬がループで狙うがゴールの上にならず外れる。北星も小野にボールを収め、浅川が飛び出しからチャンスをつかんで反撃する。北門の攻撃に慣れてきた北星は本間を中心に堅い守備を見せ、反撃の機をうかがう。畑の位置がやや低い北門は厚みのある攻撃がなくなり

始める。それでも39分には畑から右サイドの高柳にサイドチェンジ。高柳の折り返しはシュート気味となって北星ゴールに迫るが、GK伊場がフィステリングで逃れる。44分北門は畑からの縦パスをきっかけに北星のミスをつき、石澤が落ちて決めて2対0とする。この1点で楽になった北門は46分畑からのスルーパスに石澤が飛び出してGKとの1対1を決め大きな3点目を決める。54分北門は鈴木恭を起点に、荒瀬のラストパスから田中がため押しの4点目を決め、試合を決定づけた。北星も小野、船越らが北門ゴールを狙うが鈴木颯、森が北星の攻撃を完封。北門の攻撃をよくしのいだ北星だが、相手のミスを確実に決めた北門が2年連続の全道大会出場に向けて決勝へと勝ち進んだ。





平成26年7月14日発行

北門が2年連続14度目の全道大会出場！ 平成26年度上川代表決定戦

平成26年度の上川代表決定戦は、7月12日に士別天塩川サッカー場で決勝が行われました。2年連続優勝を目指す北門は、28分荒瀬の得点で先制すると、42分には田中が追加点を奪い2対0で勝利し、2年連続14度目の全道大会出場を決めました。

決勝 7月12日（土）士別天塩川サッカー場

北門 2-0（1-0）永山南

得点者 荒瀬（28分）、田中（42分）（北）

警告 長岡（北）森永、樋口（永）

北門 GK中村 DF長岡、森（鈴木恭）、鈴木颯、三浦 MF高柳、岡、石澤、田中、畑 FW荒瀬

永山南 GK中田 DF大杉、土田、前川、長屋（鈴木） MF須藤、浅見、吉田、鷲見 FW樋口（高谷）、森永

決勝は地区カブス所属ながら、前評判通りの実力を発揮し、旭川市中連のノーシードから勝ち上がった永山南と、2年連続の全道大会出場を狙う北門中学校の対戦となった。2分北門は鈴木颯を起点に畑から荒瀬にスルーパスが出てファーストシュートを放つ。北門は鈴木恭のサイドから長いボールを逆サイドに入れながら、荒瀬の突破力を生かして攻撃を組み立てる。永山南は北門の前への早い出足に中盤でボールを拾われ、なかなか組み立てる有効なパスが出ない。徐々にゲームに入れてきた両チームだが、互いに中盤で激しいプレッシャーを与え続け、組み立てにリズムが生まれない。浅見が中盤でボールを受け始めた永山南はポストプレーから前を向いてプレーできるようになり、北門ゴール前までボールを運ぶことができるようになるが、永山南の森永に北門森がハードなマークで攻撃の糸口を断ち切る。次第に流れは北門に傾き始める。17分北門は畑から左に展開、鈴木恭の逆サイドへのクロスに荒瀬が抜け出てGKをかかわしてシュートを放つが、ボールはゴール右にわずかに外れる。19分には北門は三浦が左サイドをドリブルでスルスルと抜け出て、右足でシュートを放つがボールはホールバーに当たってノーゴール。



北門、永山南とも左サイドを基点として、北門は鈴木恭、永山南は樋口から逆サイドへの大きなサイドチェンジを入れながらゴールに迫ろうとするが、北門は森、永山南は大杉を中心に集中力を切らさず、決定的な場面になる前にピンチの芽を摘んでしまう。28分北門は右サイドでボールを受けた畑からのスルーパスを荒瀬が抜け出て、ゴール前に進入。GKの体制をよく見て、インサイドでGKの逆をついて右足で先制点を決める。互いにリズムの取り合いとなった前半は、一瞬の隙をついて北門が1点のリードで折り返した。

後半は永山南のCKからスタートする。そのカウンター田中がゴールに迫るが永山南土田がすばらしいカバーリングで対処する。34分永山南は右サイドのスローインから吉田のシュートを森永が合わせようとするがわずかに届かない。互いに中盤でのプレスが弱まり、前を向いた状態でプレーする機会が増え、前線へのパスの精度が高くなりチャンスを迎える機会が多くなる。中盤での運動量が落ち始め、素早い攻守の切り替えにはプレスバックできず、中盤と前線が間延びし始める。特に永山南の中盤のプレスが弱まり、畑、田中から石澤、荒瀬のスペースにスルーパスが矢継ぎ早に出るようになる。

35分には高柳から荒瀬とつながり、逆サイドを走る石澤にグラウンダーのパス。石澤が右足のインサイドで合わせるがボールはゴール左ポストをたたき追加点はならなかった。41分北門は畑からのスルーパスに石澤が左サイドを抜け出てペナルティエリアに進出。永山南DFがたまたまファウルしPKを得る。このPKを田中が落ちていて決めて大きな追加点を奪う。そのキックオフのボールから森永のスピードを生かしてFKを得るが、吉田のキックはGK中村がパンチングで逃れる。1点を取り返したい永山南は鈴木恭のポストプレー

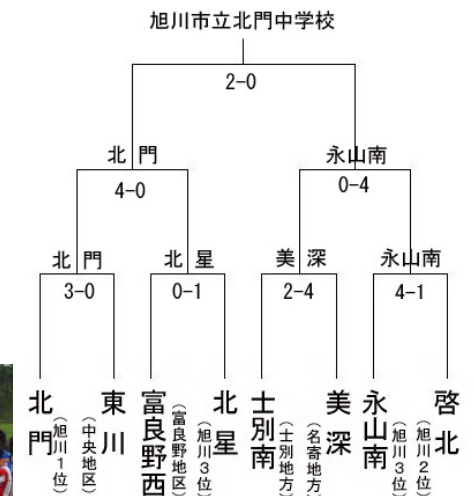
ーを利用しながら、浅見、吉田の組み立てからゴールに迫ろうとするが、鈴木颯、森を中心に体を張って守備をする。永山南は56分右サイド大杉からのFKを浅見が狙うがジャストミートせず。最後が北門しっかりとブロックを作って永山南に決定機を作らせず2対0の勝利。北門が2年連続14度目の全道大会出場を決めた。

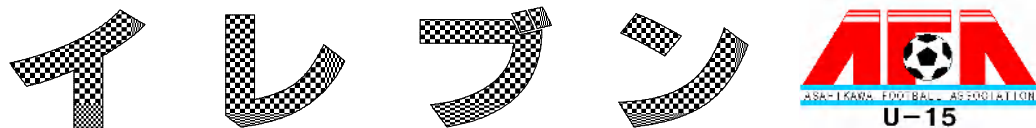


2年連続14度目の全道大会出場を決めた旭川市立北門中学校



惜しくも決勝で敗れた旭川市立永山南中学校





平成26年7月27日発行

枝幸が後半戦も白星スタート！

第21回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権 兼 第6回道北ブロックカブスリーグU-15

第21回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権兼第6回道北ブロックカブスリーグU-15は7月19日に第8節が行われました。前半戦首位を走る枝幸は永山に5対1で大勝し、首位の座を守りました。その他、コンサが2位の座を守りました。

第8節-1 7月19日(土) 東光スポーツ公園

北門1-0(1-0) 啓北

得点者 高柳(北)

北門 GK 中村 DF 森, 鈴木颯, 長岡, 鈴木恭 MF 岡, 畑, 田中, 高柳, 石澤
FW 荒瀬

啓北 GK 平野充 DF 久保田, 細川, 若田, 上野, MF 藤原, 深見, 工藤,
秋葉(鈴木), 栗本(平野友, 大友) FW 横山

大友, 鈴木を負傷で欠け啓北に対し, 北門は序盤から畑, 田中で中盤を組み立て, 荒瀬, 石澤のポストプレー, 高柳の突破から攻撃をしかける。11分北門はGKのキックを奪い, さらに守備の連携ミスについて高柳が先制点を奪う。1点を追う啓北は横山のスピードを生かして攻撃するが北門GK中村も判断よく飛び出し得点を与えなさい。追加点を狙う北門も石澤, 高柳がゴールに迫るが, 啓北GK平野充も再三判断よく飛び出しストップする。前半終了間際啓北は鈴木を投入し反撃を図り, 藤原がシュートチャンスをつかむが北門ゴールは割れない。後半啓北はトップに入った鈴木を狙って北門守備陣の背後にボールを送る。後半も半ばを過ぎ, 啓北は工藤, 藤原が中盤でボールを拾い始めペースをつかむ。北門はカウンターから石澤, 荒瀬らがシュートを放つが啓北久保田のカバーリングもあり追加点を奪えない。啓北は右サイド上野からクロスにロングフィードで狙うが北門も森を中心にはじき返す。難しい後半戦の初戦は北門が啓北を1対0で破り, 暫定で2位に浮上した。



コンサ旭川2-1(0-1) 緑が丘

得点者 清野(48分), 大間(66分)(コ)堀(8分)(緑)

コンサ GK 鴨川(山田) DF 斉藤高, 森川(村岡), 枝園, 板谷 MF 伊藤(福地),
長田(山内), 渡辺友, 斉藤峻(大間) FW 石澤, 清野

緑が丘 GK 青山 DF 田村, 中島, 大倉, 西川(大村) MF 仁木, 堀, 三好(越田),
大懸 FW 今多(宮本), 鶴羽(大久保)

序盤から高いDFラインで中盤のプレスを強める緑が丘が優勢にゲームを進める。コンサは, 斉藤高, 板谷, GK鴨川が決定機をつみ, 前線の石澤を中心に攻撃を組み立てる。両サイドをワイドに使う緑が丘は8分, ゴール前の混戦から今多がゴール右の角度のないところからシュート。GKははじいたところを堀がプッシュして先制点をあげる。先制されたコンサは, 緑中のブロックをサイドの長田を使い崩しにかかるがフィニッシュまでは遠く前半は1対0で終える。後半立ち上がり, コンサが丁寧なパスワークからチャンスをつかむ。支配率を高めたコンサは48分石澤のシュートがはじかれたところを清野が拾い, 落ちていて決め同点に追いつく。さらに66分には清野のクロスに大間がゴール前に入り正面から勝ち越



しゴールを決める。序盤に失点しながらも丁寧なパスワークを見せたコンサが後半戦の第1戦を勝ち, 暫定で首位に出た。

第8節-2 7月20日(日) 稚内若葉台

稚内南4-1(1-0) 広陵

得点者 成田(35分), 大江(42分), 蝦名(46分), 坂本(53分)(稚)
藤枝(61分)(広)

警告 安念(稚)

稚内南 GK 高木良 DF 辻口, 大(高木直)江, 相原悠, 北川 MF 成田, 吉田, 蝦名,
坂本, 小野寺, 坂本 FW 日詰(鈴木)

広陵 GK 唐太 DF 鈴木, 星, 小笠原, 森田 MF 松尾, 安念, 大曾根, 樋口,
櫻井(渡邊) FW 藤枝

試合開始から稚内南がボールを支配するが, 広陵は鈴木を中心にDFが粘り強い守備で得点を許さない。しかし, 前半終了間際, 大江のロングフィードから成田が抜け出し稚内南が先制する。後半稚内南はより細かいパスを使い, 攻撃を続ける。42分大江, 46分蝦名, 53分坂本と追加点を決める。広陵は61分に藤枝がドリブルでDFをかわして逆サイドネットにシュートを決め, 反撃に転じるが稚内南が守りきり, 後半戦のスタートを白星で飾り5位に浮上した。

第8節-3 7月21日(月) 名寄健康の森

枝幸5-1(3-0) 永山

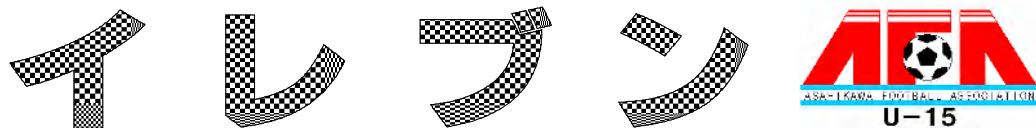
得点者 能澤亮(2分), 和田(6分), 木村(34分), 清水(61分),
大友(69分)(枝)須合(58分)(永)

枝幸 GK 戸田(松井) DF 佐藤, 馬酔木, 高橋雅, 白取 MF 清水, 柴田(大友),
木村, 樋口, 能澤亮(能澤輝) FW 和田

永山 GK 宮坂(渡部) DF 工藤駿介, 小野田, 谷島, 宮崎滉(松井), 荒井(布施)
MF 吉田直(須合), 北川, 佐竹(川勝), 鈴木祥(関口) FW 板橋

枝幸は風上を利用し, 立ち上がり早々永山守備陣が落ち着かないところを, オフサイドトラップの裏について白取のパスから能澤亮が抜け出して先制点を決める。その後も和田のパスワークからチャンスをつかみ, 6分には佐藤からの左クロス和田が押し込んで追加点を奪う。さらに34分にはCKを起点に佐藤, 樋口とつなぎ最後は木村が押し込んで3対0とする。後半反撃する永山は58分北川のFKから板橋が折り返したところを須合がプッシュして1点を返す。しかし, その後も攻撃の手を緩めない枝幸は, 61分和田のシュートのこぼれ球を清水が押し込んで4点目を奪うと, 69分には樋口のドリブル突破から最後は大友がゲットして5対1で快勝。首位の座を守った。





平成26年7月27日発行

広陵に快勝し、枝幸が首位をがっちりキープ!

第21回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権 兼 第6回道北ブロックカフスリーグU-15

第21回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権兼第6回道北ブロックカフスリーグU-15は7月19日に第8節が行われました。前半戦首位を走る枝幸は永山に5対1で大勝し、首位の座を守りました。その他、コンサが2位の座を守りました。

第9節 7月26日(土) 稚内若葉台

稚内南 1-1 (1-0) 永山

得点者 吉田(24分)(稚) 布施(33分)(永)

稚内南 GK高木良 DF辻口, 相原悠, 成田, 北川 MF吉田, 蝦名, 鈴木(大江), 坂本, 小野寺(高木直) FW日詰

永山 GK宮坂 DF工藤駿介, 小野田, 谷島(荒井, 松井), 宮崎滉 MF吉田直(須合), 北川, 佐竹, 川勝(鈴木祥) FW板橋

稚内南は小野寺, 蝦名が中盤を作りながら, ショートカウンターから左サイドの吉田やFW日詰へのスルーパスを狙って攻撃をしかける。谷島を中心にラインコントロールする永山は, 左サイドの布施, トップの板橋にボールを集めながらチャンスを狙う。永山はトップ下の佐竹がフリーでボールを受けチャンスメイクし, 吉田らが好シュートを放つが, 稚内南もDFに下がった成田や辻口を軸に堅い守備を見せる。24分稚内南はバイタルエリアでボールを拾った吉田が20mのミドルシュートをゴール上に叩き込み先制する。後半開始3分永山は相手のボールを奪った布施がカットインしながら右足でミドルシュートを決め同点に追いつく。その後は稚内南は中盤に上がった成田を中心に日詰, 坂本らがゴールに迫るが, 永山も負傷退場した谷島のポジションに入った工藤が, 小野田とともに踏ん張る。GK宮坂の好セーブもあり試合は1対1のドローに終わった。



名寄健康の森

枝幸 4-0 (1-0) 広陵

得点者 和田(13分, 64分), 清水(53分), 大友(63分)(枝)

枝幸 GK戸田 DF佐藤, 馬酔木, 高橋雅, 白取 MF清水, 柴田(大友), 木村, 樋口, 能澤亮 FW和田

広陵 GK唐太 DF鈴木, 星, 小笠原, 樋口 MF松尾, 森田, 大曾根, 藤枝 FW安念, 櫻井

小雨の中, 枝幸は木村, 和田うい起点にゲームを組み立て, 序盤からペースをつかむ。13分には木村のスルーパスから和田が左足で先制点を決める。広陵も大曾根を中心に攻撃するも苦しい展開となる。後半も枝幸が主導権を握りボールを支配。広陵はカウンターからチャンスを狙うが, 馬酔木, 佐藤を中心とした枝幸守備陣を突破できない。枝幸は53分には和田の早いクロスが清水が決めて待望の追加点を奪う。さらに63分には木村のスルーパスから大友が決めて3点目。64分には再び木村, 和田のコンビネーションからダメ押しの4点目を奪う。木村の3アシストの活躍もあり, 枝幸が広陵に快勝。首位の座をがっちりキープした。

東光スポーツ公園

北門 2-0 (1-0) コンサ旭川

北門 GK中村 DF森, 鈴木颯, 長岡, 鈴木恭 MF岡, 畑, 田中, 高柳, 石澤

FW荒瀬

コンサ GK鴨川(山田) DF斉藤高, 上杉, 村岡, 板谷 MF石澤(福地), 斉藤竣, 長田(森川), 渡辺友 FW清野, 外館

コンサがDFラインから丁寧にパスをつかみゲームを組み立てる。GK鴨川のコーチングもよくコンサが押し気味に試合を進めるが, 森を中心とした北門DFを崩しきれない。15分北門は一瞬のすきをつけて, 石澤が縦パスに抜け出し, GKの頭上越しのループシュートを決める。44分北門はPKを得, 田中が落ち着いて決めて追加点を奪う。ポゼッションでは上回るコンサだが, 北門のディフェンスを崩せず試合終了。北門が2対0で勝ち, コンサを抜いて2位に浮上した。

緑が丘 4-1 (1-0) 啓北

得点者 仁木(21分), 鶴羽(50分), 堀(58分), 西川(61分)(緑) 横山(36分)

(啓)

緑が丘 GK青山 DF田村, 中島(湊端), 大倉, 西川(大久保) MF仁木, 堀,

大懸(久保), 村田(宮本) FW今多(三好), 鶴羽(大村)

啓北 GK平野充 DF久保田, 細川, 若田, 平野友 MF藤原, 深見, 鈴木, 工藤, 大友(栗本) FW横山

互いにラインをコンパクトに保ち中盤のボールを支配しようとするが, ともに決定機を作れず20分が過ぎる。均衡を破ったのは緑が丘, 21分仁木のドリブルからのシュートがゴール下に決まる。後半開始早々の36分啓北は横山がGKの位置を見て, 冷静に同点ゴールを決めると, 鈴木を中心としながら啓北が中盤を支配し始めゲームを優位に進める。50分緑が丘は堀の右サイドからのセンタリングに鶴羽が決めて再びリードを奪うと, 58分にはペナルティエリア内で堀がしかけて3点目を奪う。さらに61分には西川が右サイドをドリブルからダメ押しの4点目を奪う。最後まで運動量が落ちなかった緑が丘が啓北に勝ち, 混戦の中を4位に浮上した。

第2回道北ブロックカフスリーグU-13

7月26日(土) 東光スポーツ公園A

北門 2-0 (2-0) 東陽 水正(1分), 山本(15分)(北)

永山 3-0 (0-0) 啓北 斉藤懸, 藤田大, 鈴木(永)

緑が丘 5-0 (4-0) 鷹栖

水野(3分), 斉藤(5分), 工藤(9分), 小竹(17分), 清水(36分)(緑)

花咲球技場

愛宕 8-0 (2-0) 神楽

高橋(11分, 30分, 43分), 野坂(25分), 古本(27分, 40分, 50分+0分),

滝ヶ平(50分+1分)(愛)

忠和 4-1 (1-1) 女子トレセン

佐藤瑚(20分, 36分), 佐藤宏(30分), 設楽(43分)(忠) 濱野(3分)(女)

永山南 4-0 (1-0) 東明

小森(17分), 澤田(26分, 32分), 定岡(45分)(永)

7月28日(月) 東光スポーツ公園

啓北 3-1 (2-1) 鷹栖 中里(9分), 佐藤(10分, 27分)(啓)

広陵 13-0 (7-0) 神楽

柿木(3分), 木谷(5分, 17分, 26分, 30分, 45分, 48分, 49分), 藤木(7分),

角(10分), 田中(13分, 18分, 48分)(広)

女子トレセン 3-0 (1-0) 東明 由井(11分), 岡本美(42分, 46分)(神)

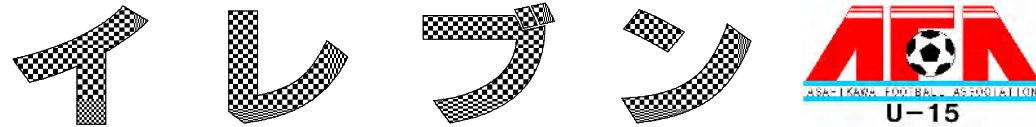
7月31日(木) 神楽中学校

啓北 5-0 (2-0) 神楽

中里(10分, 24分), 中山(40分), 金子(45分), 北山(47分)(啓)

忠和 2-2 (1-0) 永山

大西(29分), 澤出(44分)(忠) 遠藤(40分), 吉田(48分)(永)



平成26年7月31日発行

劇的な決勝ゴールで忠和が初優勝！

平成26年度あさひかわ新聞杯第5回旭川・道北地区カブスリーグU-15

平成26年度あさひかわ新聞杯第5回旭川・道北地区カブスリーグU-15前期は、7月28日に東光スポーツ公園で決勝が行われ、終了間際大浪の決勝ゴールにより忠和が附属を下して初優勝を飾りました。

決勝 7月28日(月) 東光スポーツ公園
忠和 1-0 (0-0) 附属
得点者 大浪 (59分) (忠)
忠和 GK 飛騨野 DF 石坂, 宮野, 竹馬, 今野 MF 南向, 中西 (棚橋), 鈴木, 上西
FW 大浪, 芝崎
附属 GK 小林 DF 古高 (青山), 宮川, 稲尾, 森, 藤井 MF 海谷, 松本, 安尾,
山下 FW 石崎 (遠藤)

忠和は鈴木, 南向が中盤を作りながら, 大浪, 芝崎のツートップのスピードを生かした攻撃をしかける。一方の附属はトップの安尾が裏へのすり抜けをねらってチャンスを探す。前半から芝崎が再三ゴールに迫るがGK小林的好守もあり忠和は得点を奪えない。一方の附属も山下が決定機をつかむが得点できず前半はスコアレスで終わる。後半に入っても芝崎, 安尾が互いのゴールに迫るが得点できずPK戦火と思われた終了間際, 附属ゴール前の混戦のこぼれ球を大浪がシュート。虚をつかれたGKの手をはじいてゴールインし決勝点。劇的なゴールで忠和が初優勝を果たした。



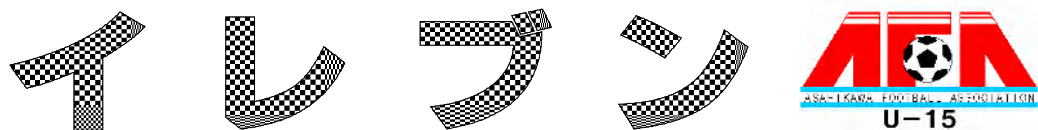
初優勝を飾った旭川市立忠和中学校

優勝 旭川市立忠和中学校 第3位 旭川市立神居中学校
第2位 教育大学附属中学校 旭川市立六合中学校

優秀選手
GK 山本 悠矢 (神居中学校3年)
DF 坂本 亮哉 (光陽中学校3年)
白石 龍我 (愛宕中学校3年)
窪田 隼人 (愛宕中学校2年)
宮川 峻大 (附属中学校3年)
藤井 康嗣郎 (附属中学校3年)
石坂 陸 (忠和中学校2年)
宮野 友孝 (忠和中学校3年)
松下 直人 (神居中学校3年)
高橋 圭亮 (六合中学校3年)
大杉 弘 (永山南中学校3年)
MF 林 輝一 (神楽中学校3年)
原田 有希也 (光陽中学校3年)
海谷 俊輔 (附属中学校2年)
安尾 佳樹 (附属中学校2年)
芝崎 龍都 (忠和中学校3年)
鈴木 三平 (忠和中学校3年)
小山 登生 (神居中学校3年)
野田 翼空 (神居中学校3年)
吉田 翔哉 (永山南中学校3年)
FW 藤本 爽太 (神楽中学校3年)
滝ヶ 平圭輔 (愛宕中学校3年)
大浪 龍信 (忠和中学校2年)

得点ランキング

| | | | |
|----|--------|-------------|----|
| 1 | 芝崎 龍都 | (忠和中学校3年) | 25 |
| 2 | 原田 有希也 | (光陽中学校3年) | 17 |
| 3 | 鈴木 三平 | (忠和中学校3年) | 16 |
| 4 | 畠山 政宗 | (光陽中学校3年) | 15 |
| | 瀬川 隆敦 | (美深中学校3年) | 15 |
| 6 | 中村 孔 | (六合中学校2年) | 13 |
| 7 | 大浪 龍信 | (忠和中学校2年) | 12 |
| | 藤本 爽太 | (神楽中学校3年) | 12 |
| 9 | 佐々木 優真 | (神居東中学校2年) | 10 |
| 10 | 船越 裕晃 | (北星中学校3年) | 9 |
| | 小川 真弘 | (名寄SC1年) | 9 |
| 12 | 松山 光喜 | (東光中学校3年) | 8 |
| | 武藤 雅英 | (美深中学校3年) | 8 |
| | 杉 佳彦 | (増毛中学校3年) | 8 |
| 15 | 植田 朋寛 | (中富良野中学校2年) | 7 |
| | 江良 竜位 | (立東神楽中学校2年) | 7 |
| | 弘田 怜二 | (東陽中学校3年) | 7 |
| | 鈴木 悠介 | (永山南中学校3年) | 7 |
| | 尾崎 翔汰 | (富良野西中学校3年) | 7 |
| | 畠山 海斗 | (神楽中学校3年) | 7 |
| | 中田 珠偉 | (愛宕中学校2年) | 7 |
| 22 | 南向 航太 | (忠和中学校2年) | 6 |
| | 斉藤 響輝 | (光陽中学校3年) | 6 |
| | 藤田 悠河 | (東明中学校2年) | 6 |
| | 林 貴章 | 増毛町立増毛中学校3年 | 6 |
| | 古本 玲士 | (愛宕中学校1年) | 6 |
| | 滝ヶ 平圭輔 | (愛宕中学校3年) | 6 |
| 28 | 上西 陸斗 | (忠和中学校3年) | 5 |
| | 本庄 空 | (春光台中学校3年) | 5 |
| | 高橋 駿太 | (東神楽中学校3年) | 5 |
| | 坂本 亮哉 | (光陽中学校3年) | 5 |
| | 塚本 俊平 | (永山南中学校3年) | 5 |
| | 荒 泰河 | (六合中学校3年) | 5 |
| | 浅川 諒 | (北星中学校3年) | 5 |
| | 石井 誠也 | (神楽中学校3年) | 5 |
| | 武田 航 | (名寄SC 2年) | 5 |
| | 安尾 佳樹 | (附属旭川中学校2年) | 5 |
| | 松下 直人 | (神居中学校3年) | 5 |
| | 藤本 敬太郎 | (神居中学校3年) | 5 |
| | 江嶋 直樹 | (上富良野中学校2年) | 5 |



平成26年7月31日発行

決勝は忠和と附属の対戦となる。

平成26年度あさひかわ新聞杯第5回旭川・道北地区カブスリーグU-15

平成26年度あさひかわ新聞杯第5回旭川・道北地区カブスリーグU-15前期は、7月26日に東光スポーツ公園で準決勝が行われ、附属と忠和が勝ち初優勝をかけて決勝を戦うことになりました。

準決勝 7月26日(土) 東光スポーツ公園

附属 1-0 (0-0) 神居

得点者 安尾 (37分) (附)

警告 稲尾, 古高 (附)

附属 GK 小林 DF 古高, 宮川, 稲尾, 森, 藤井 MF 海谷, 松本, 安尾, 山下

FW 石崎 (遠藤)

神居 GK 山本 DF 林, 松下, 菊池, 岸谷 MF 安藤, 小山, 菅原, 新井 FW 藤本, 野田

立ち上がりから神居がロングボールを多用し附属ゴールに迫る。附属はその対応に追われ、なかなか攻撃を組み立てられない。附属は大きなサイドチェンジからチャンスを作ろうとするが神居DFの早い寄せに決定機を作らせない。前半は神居が優勢ながら両チーム無得点で終わる。後半も前半と同様の展開となるが、37分神居DFのクリアボールをペナルティエリア外で足元にボールをおさめた安尾が左にドリブルしながらペナルティエリア内に進入。角度のないところから左足を振りぬくとボールは右隅に決まる。これが決勝点となり、附属が1対0で勝利。地区カブス決勝大会の代表権を射止めた。

忠和 3-1 (1-0) 六合

得点者 芝崎 (20分, 33分), 中西 (37分) (忠) 荒 (60分+0分) (六)

警告 鈴木 (忠) 中村 (六)

忠和 GK 宇野 DF 石坂, 宮野, 竹馬 (山崎), 今野 MF 南向, 中西 (棚橋), 鈴木, 上西 FW 大浪, 芝崎

六合 GK 中野 DF 長内, 高橋弘, 西本, 濱嶋 MF 荒, 尾崎 (小西), 惣田, 浅田, 籠場 (渡辺) FW 中村

大雨が降りしきる中、前半から忠和は芝崎を起点に攻勢に出るが、六合の巧みなラインコントロールにオフサイドの山を築く。20分忠和は南向のCKを芝崎がヘディングで落ちて決めて先制する。その後も忠和が押し気味に試合を進めるがなかなか追加点を奪えない。しかし、後半開始早々の33分鈴木のスルーパスに抜け出した芝崎が落ちてゴールに流し込み追加点を奪う。さらに忠和は37分中西がドリブルで持ち込んで貴重な3点目をあげる。六合も終盤中村を中心に反撃。追加タイムに荒がFKを決めるが反撃もここまで。忠和が全道地区カブスへの出場を決めた。

準々決勝 7月21日(月) 花咲球技場

忠和 4-2 (3-1) 神楽

得点者 大浪 (8分), 芝崎 (25分, 55分), 鈴木 (29分) (忠) 藤本 (14分), 畠山 (49分) (神)

忠和 GK 宇野 DF 石坂, 宮野, 竹馬, 今野 MF 南向, 中西 (棚橋), 鈴木, 上西 FW 大浪, 芝崎

神楽 GK 今 DF 林大, 濱田, 吉田, 大村 MF 石井, 岡本青 (佐々木), 三浦, 藤本, 林輝 FW 畠山

立ち上がり一進一退の攻防が続く中、忠和は芝崎のセンタリングから、神楽は林輝から畠山への縦パスでチャンスを作る。8分右サイド大浪が飛び出しGKの頭上を越えるループシュートで忠和が先制する。14分神楽は林輝の絶妙なCKをファーサイドで待っていた藤本がヘッドで決めて同点とする。25分忠和は鈴木が中央から持ち込み左の芝崎にスルーパス。芝崎が決めて再び勝ち越す。さらに29分には鈴木がもちこみ芝崎からのリターンパスを決めて3対1とする。追いすがる神楽も49分三浦のシュートのこぼれ球を畠山が決めて1点差とする。しかし忠和は55分、中央からの浮き球に走りこんだ芝崎が試合を決定づけるル

ープシュートを決め、4対2で神楽を振り切った。

六合 2-1 (1-1) 愛宕

得点者 中村 (7分, 50分) (六) 滝ヶ平 (20分) (愛)

六合 GK 中野 DF 長内 (籠場), 高橋弘, 濱嶋, 惣田 MF 荒, 西本, 尾崎 (渡辺), 浅田 FW 中村, 小西

愛宕 GK 土田 DF 山形, 白石, 窪田, 半田 MF 菅野, 中田 (山村), 遠藤 (浅野) FW 池田 (室井), 滝ヶ平

六合は相手DFのパスカットからCKのチャンスを作り、7分中村が押し込んで先制点を奪う。愛宕は29分カウンターから縦パスで滝ヶ平がGKと1対1になり、落ち着いて決めて同点に追いつく。後半は愛宕のパスワークが冴えをみせ押し気味に試合を進める。しかし、50分六合はスローインを起点に中村が中盤からミドルシュートを決めて決勝点。六合が愛宕を振り切った。

神居 1-0 (0-0) 永山南

得点者 小山 (36分) (神)

神居 GK 山本 DF 林, 松下, 菊池, 岸谷 MF 安藤, 小山, 菅原, 新井 FW 藤本, 野田

永山南 GK 中田 DF 大杉, 土田, 前川, 鷲見 MF 須藤, 浅見, 吉田 FW 樋口, 鈴木 (高谷), 森永

一進一退の攻防が続く中、永山南は吉田から裏へ森永, 浅見を走らせ攻撃を展開する。神居はカウンターから少ないチャンスをうかがうが、両チーム決定機を生かしきれず前半は無得点で終了する。後半開始早々攻勢に出た神居は相手DFのクリアボールを落ちていてトラップした小山のロングシュートが決まり先制する。何とか同点にしたい永山南はサイド攻撃を中心に神居ゴールを脅かすが、神居GK山本のファインセーブがあり、得点できず試合終了。上川支庁大会2位の永山南を神居が下した。

附属 2-1 (1-0) 光陽

得点者 山下 (20分), 安尾 (50分) (附) 小林 (光)

警告 宮川 (附)

附属 GK 小林 DF 古高, 稲尾, 森, 藤井 MF 海谷, 宮川, 松本, 安尾, 山下

FW 石崎 (遠藤)

光陽 GK 丹羽 DF 松下, 藤田, 大谷, 坂本 MF 坂本, 小林, 中西, 原田

FW 山田, 上家

前半附属はボールを支配し、優位に試合を進めるもなかなか決定機を作れない。光陽は坂本が精力的に動き何とかくらくらいつく。攻撃の糸口をつかもうとしても光陽は原田が孤立してしまい、守備の時間が多くなる。20分には附属GK小林のパントキックが風に乗ってDFの裏へ。山下が抜け出して先制する。光陽は36分相手のクリアミスを持った小林が右サイドからシュートを決め同点に追いつく。50分附属は古高のアシストから安尾が決勝点をあげ、ベスト4へ進出を決めた。

